

『オリジナル山野草カレンダー』

7月号をお届けします。

今月の花・木

ノハナショウブ（野花菖蒲）

◎ アヤメ科アヤメ属の多年草。全国各地（北海道、本州、四国、九州）また中国、朝鮮半島にも分布する。園芸種のハナショウブの原種です。

●花言葉 「優雅」「嬉しいお知らせ」「お付き合い」

◎ 開花時期は6～7月で水辺や湿原、湿った草原に自生する。

◎ 花びらは赤紫色で基部に黄色の筋が入る。同じ仲間のアヤメは網目模様が入り、カキツバタには白色の筋が入る。

◎ この写真は故郷の山での群生地での撮影

『もうひとつの近場』



‘07.7（岩手・八幡平の木道+アオイトマトの元で）

「石巻線・女川駅ゆき」

曇り、6月の平日 10：22 東仙台駅発（東北ライン）～石巻駅経由～12：49 女川駅着
常には道路で車の運転、鉄路となればたまに乗る地下鉄のスマホ画面のみ。

列車窓をゆったり眺めることは実に新鮮なことである。車窓には遠く岸辺の青い波、早咲きのハギの花のピンク色、線路沿いの群生ヨシの緑も生き生きと映る。

震災後の女川は13年経て復興が進み、メイン駅通りは<シーパルピア>（道の駅・女川）とおしゃれな街と変遷している。既に表向きはインスタ映えは十分になっている。震災遺構「旧女川交番」周りも整備されている。経年による劣化が進んだ、なぜ鉄筋コンクリートが転倒したのかを、建築士の一人として考えられる日でもあった。

ハイブリットレールトレインで 16：48・・・私のプチ旅が終わった。